



学校だより みやまき

京田辺市立三山木小学校

令和7年2月12日（水）

2月臨時号

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

1 全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等と水準向上を目的とし、学校における児童生徒への学習指導の充実や改善に役立てることを目指して、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に実施されています。本年度は4月18日に調査が行われました。

2 教科に関する調査の結果について

調査では、国語及び算数の2教科について、小学校第5学年までの内容が出題されました。

(1) 国語科の分析結果と課題について

国語科の正答率は、全国平均・京都府平均をやや上回りました。特に、「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」においては、正答率が高いことが分かりました。

物語文を読んで心に残ったところとその理由を書く課題は全国平均・京都府平均ともに大きく上回りました。一方で、事実と感想、意見を区別して書く課題は、全国平均・京都府平均も正答率が低く、本校も低い傾向にあり、書く課題の中でも出題内容により、異なる傾向が見られました。

自分の考えを明確にし、相手に的確に伝える力を高めていくために、記録、要約、説明、論述、話し合いなどの言語活動の充実に努めてまいります。

(2) 算数科の分析結果と課題について

算数科の正答率も全国平均を上回りました。出題された「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」すべての領域において知識・技能の正答率は高かったです。一方で、記述問題では全国的にも正答率が低く、本校も低い傾向にありました。図やグラフ等の資料から必要な情報に着目することができていても、的確に説明することが難しいことが分かりました。

日常生活等の具体的な問題場面を設定するよう工夫し、児童が資料から必要な情報を読み取って、どの部分やどの数値を基に判断したか等、他者に分かるように伝える活動を充実させてまいります。

(3) 質問紙調査の概要

質問紙の内容は、「基本的生活習慣」「学習習慣」「学習に対する興味・関心」「ICTを活用した学習状況」等、63の項目がありました。

「基本的生活習慣」に関しては、「朝食を毎日食べる」「起床・就寝時刻が決まっている」については、全国平均・京都府平均を上回る結果となりました。テレビゲームの時間や、動画視聴の時間については、全国平均・京都府平均と同じような傾向が見られました。土日や長期休み等をまたいだ次の日は、生活習慣が乱れがちかと思われそうですが、引き続きご家庭でもあたたかい声掛けと本校で取り組んでおります「すこやかミヤマキッズ週間」の取組等でのご協力ご支援をよろしくお願いします。

「学習習慣」「学習に対する興味・関心」に関しては、「学習は大切」だと分かっている一方、「好き」と答えた児童が少ないことが分かりました。学んだことが日常生活で生かされるという必要感を高めることで、更なる学習意欲へとつながるよう普段の学習を進めていきたいと思います。また、「休みの日に取り組む勉強時間」については、全国・京都府平均を大きく上回りました。丁寧に宿題に取り組んだり、ご家庭で学力を高めるために学習時間を設けて頂いたりしていることが分かりました。

「ICTを活用した学習状況」については、「学習に役立つ」と回答した児童が多く、ICT 機器を活用することで学習内容の理解が深まることを実感している様子が伺えます。今後もICT機器の効果的な活用を目指してまいります。

3 おわりに

本調査は、幅広く児童の学力や学習状況を把握することを目的として実施しています。結果は、児童が身につけるべき学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面に過ぎないことをご理解ください。今後とも教育目標である「豊かに未来を創造する子」を目指し、日々の教育活動を進めていきたいと思えます。本報告が学校と各家庭との、よりきめ細やかな協力体制を築きあげていく一助となることを願っています。

学校アンケートについて

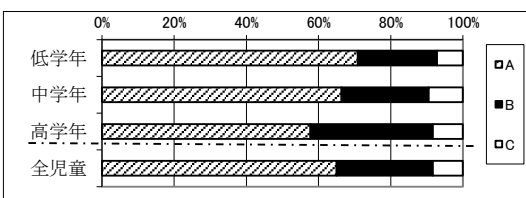
学校アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。以下に児童による回答結果及び保護者の皆様の回答の結果を集約し、分析したものを載せております。得られた結果をもとに、より充実した学校生活、授業改善の推進、そして学校教育目標である「豊かに未来を創造する子」の育成に取り組んでまいりたいと思います。今後も学校運営にご理解とご協力をお願いします。

令和6年度 学校アンケート 結果と分析

① 学習は楽しいですか

A:はい B:どちらでもない、時々、少し C:いいえ

	A	B	C
低学年	70.8	22.0	7.2
中学年	66.4	24.1	9.5
高学年	57.8	33.9	8.3
全児童	65.0	26.7	8.3

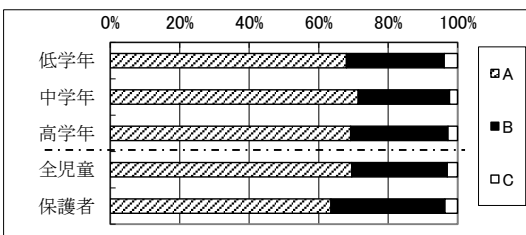


高学年は、昨年に比べて「はい」と答えた児童の割合は増えました。一方で、低学年では、「はい」と答えた児童は若干減少しました。また、「いいえ」と答えている児童は低中高学年いずれも同様の割合でいます。

引き続き、子どもたちが主体となり、関心を持って学習に取り組めるように授業改善に努めていくとともに、基礎・基本を確実に身につけ、自信を持って学習に臨めるように、家庭とも連携しながら、学習を進めていくよう努めます。

② 学習したことはよく理解できていますか

	A	B	C
低学年	68.0	28.1	3.9
中学年	71.4	26.3	2.4
高学年	69.2	28.1	2.8
全児童	69.5	27.5	3.0
保護者	63.5	32.9	3.6

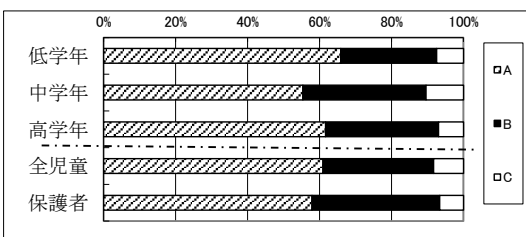


「いいえ」と答える児童の割合は低いものの、「はい」と自信を持って答えられる児童は、全校児童でおよそ70%にとどまりました。

今年度実施しているミライシード(タブレット上のドリル)などを積極的に活用しつつ、個別の学習状況をつぶさに確認し、教職員間でも連携しながら、それぞれの児童に応じた指導を推進します。

③ 分からないことがあった時、自分から解決しようとしていますか。(調べたり、たずねたり)

	A	B	C
低学年	65.9	26.7	7.4
中学年	55.3	34.2	10.4
高学年	61.7	31.4	6.9
全児童	61.0	30.8	8.3
保護者	57.9	35.4	6.6



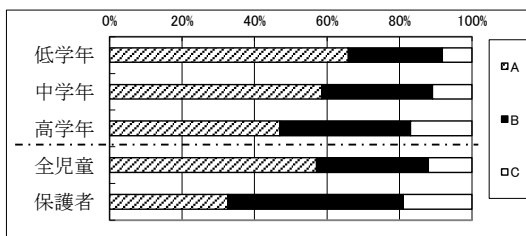
昨年に比べると、全校児童で、「はい」と答えた割合は、少し増えています。

「宿題プラスワン」の取り組みで、自主学習ノートを使って、それぞれ自分の調べたいことや苦手な分野について、自主的に進んで調べたり学習したりしている児童は多くみられます。

今後、児童自らが課題意識を持って、授業に向き合えるよ

④ 家で進んで学習していますか。

	A	B	C
低学年	65.9	25.9	8.2
中学年	58.6	30.5	11.0
高学年	46.9	36.1	16.9
全児童	57.1	30.8	12.0
保護者	32.6	48.4	18.9



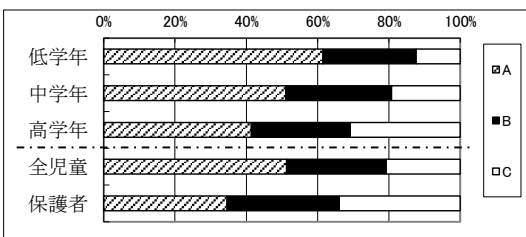
昨年度に比べ、「はい」と答えた児童の割合は、高学年は4.7ポイントは増えているものの、それ以外の学年は、減っており、保護者の回答でも減っています。

また例年通り、学年が進むにつれて、進んで学習する児童の割合は減っています。

家庭学習の目的や必要性について改めて子どもたちに周知の上、家庭・学校の両方での学習の習慣をつけられるように指導を進めていきます。

⑤ 進んで本を読んでいますか

	A	B	C
低学年	61.5	26.2	12.3
中学年	51.1	29.7	19.3
高学年	41.4	27.8	30.8
全児童	51.3	27.9	20.8
保護者	34.5	31.4	33.9



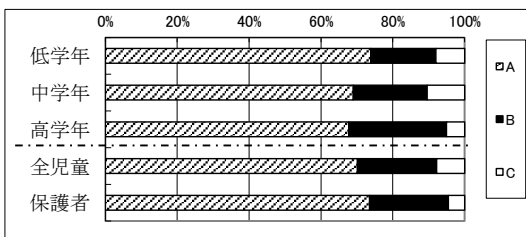
全校児童の「はい」と答えた児童の割合が、令和3年以降減っています。

学校では、朝の読書の時間やおはなし会などを通じて、本にふれる機会を継続して設定していくだけでなく、普段の授業の中でも、文献を活用した活動などを充実させながら、本にふれる機会を増やし、子どもたちが読書に興味関心を持てるよう努めたいと思います。

また各ご家庭においても、読書をしていくよう声掛けや機会

⑥ 学校は楽しいですか。

	A	B	C
低学年	73.8	18.2	7.9
中学年	69.0	20.6	10.4
高学年	67.8	27.2	5.0
全児童	70.2	22.0	7.8
保護者	73.5	22.0	4.5

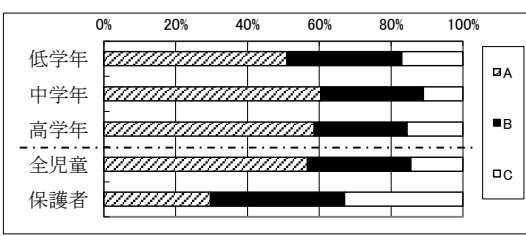


全校児童で見ると、およそ70%の児童が「楽しい」と感じているものの、8%弱の児童は「楽しくない」と回答しています。

学ぶ楽しさが実感できる授業改善の推進、学校内におけるより良い人間関係の構築、学習や生活における自己有用感の向上につながる取組み等、学習や学校生活の充実に努めます。

⑦ 自分で起きていますか。

	A	B	C
低学年	51.0	32.0	17.0
中学年	60.4	28.6	11.0
高学年	58.6	25.8	15.6
全児童	56.7	28.8	14.5
保護者	29.7	37.4	32.9



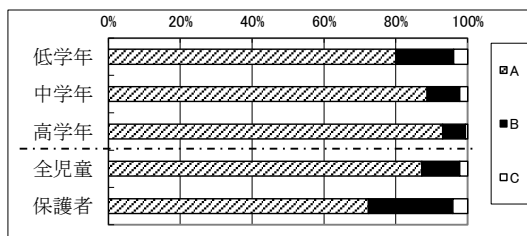
例年と比べると「はい」と答えた全児童の割合は、わずかに増えている。一方で、低学年の「はい」と答えた割合は、ここ数年減っています。

学校全体で、睡眠時間が足りていない児童が多くみられます。

睡眠を含めた基本的な生活習慣の大切さについて、指導を充実させていくとともに、各ご家庭でも、声をかけていただくよう協力をお願いします。

⑧ 学習の準備は、自分でしていますか。

	A	B	C
低学年	79.9	16.2	3.9
中学年	88.8	9.1	2.1
高学年	93.1	6.4	0.6
全児童	87.3	10.6	2.2
保護者	72.4	23.5	4.1

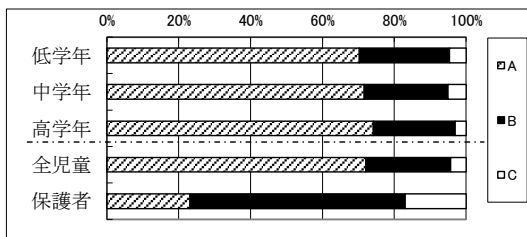


例年通り、「はい」と答えた児童の割合は、高い現状にあり、学年が上がるほどその傾向は顕著となります。ただし、児童と保護者の回答には差が存在しています。

低学年のうちから、自分で準備ができるよう学級でも声掛けを行っていくとともに、家庭と協力をしながら、子どもたちの自立心を育てていけるよう努めていきたいと思います。

⑨ 係や仕事は進んでいますか。（保：仕事やお手伝いを進んでいますか。）

	A	B	C
低学年	70.3	25.1	4.6
中学年	71.7	23.3	5.1
高学年	74.2	22.8	3.1
全児童	72.0	23.7	4.3
保護者	23.1	59.9	17.0

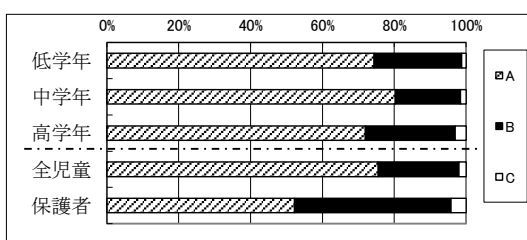


高学年は、昨年度と比べ、「はい」と答えた児童の割合は9.4ポイント上がっています。また、児童と保護者との意識には大きな隔たりが存在します。

学校では、責任を持って、係活動や委員会活動に取り組んでいる様子がよく見られますが、家庭でのお手伝いはあまりできていないことが推測されます。学校での取り組みを通して、チャレンジ精神や人の役に立とうとする気持ちを育み、家でのお手伝いにもつなげていければと考えています。

⑩ きまりや約束を守っていますか。

	A	B	C
低学年	74.4	24.4	1.3
中学年	80.3	18.1	1.6
高学年	71.9	25.0	3.1
全児童	75.5	22.5	2.0
保護者	52.2	43.6	4.2



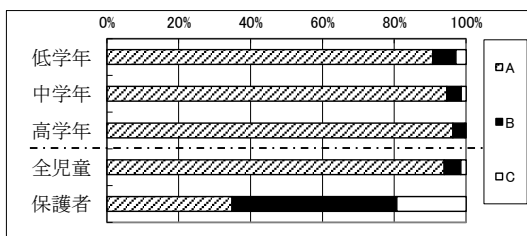
全体的に、「はい」と答えた児童の割合が増えており、規範意識が高くなっていると考えられます。

その一方で、保護者の「はい」と答えた割合は、52.2ポイントと児童の回答とは20ポイント以上の差が存在する。家での決まりや約束を守れていないと感じる保護者が多くいることが分かりました。

なぜきまりがあるのかを理解したうえで、自分事としてしっかり考えさせ、それらを守ることの大切さなどを引き続き指

⑪ 遊んだりしゃべったりする友達はいますか。（保：家に帰ってから友達と遊んでいますか）

	A	B	C
低学年	90.7	6.4	2.8
中学年	94.6	4.0	1.3
高学年	96.4	3.3	0.3
全児童	93.9	4.6	1.5
保護者	34.8	45.9	19.3



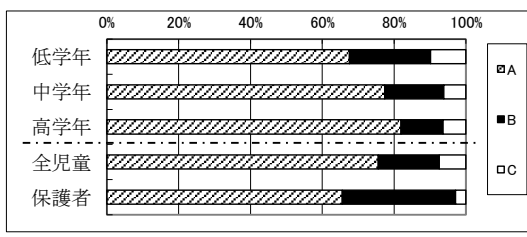
全体的には、例年と同様の割合の回答ではありますが、低学年の「はい」と答えた割合が例年に比べると少し減っています。

学校では中休みや昼休みになると、友達を連れて運動場に出て、あるいは教室で仲良く遊んでいる様子が見られます。

その一方で、家に帰ってからは友達と遊んでいないということが伺えます。校区も広いことから、家が遠いと遊べないという声も聞かれます。

⑫ 困ったことがあった時、相談する人がいますか（保：困ったことがあった時、家の人に相談していますか。）

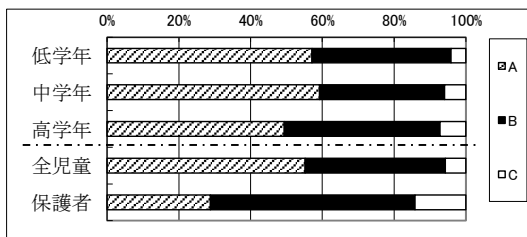
	A	B	C
低学年	67.5	22.7	9.8
中学年	77.4	16.4	6.2
高学年	81.9	11.7	6.4
全児童	75.6	16.9	7.5
保護者	65.6	31.5	2.9



昨年度と比べ、低学年、中学年の「はい」と答えた割合は少し増え、高学年の「はい」と答えた割合は少し減っています。いずれの学年においても、「いいえ」と答えた児童も一定数いることから、日頃からのコミュニケーションを密に図っていくとともに、困ったときに相談できる人が身近にいることを伝えていきたいと思います。

⑬ 丁寧な言葉遣いをしていますか。

	A	B	C
低学年	57.1	38.8	4.1
中学年	59.2	34.9	5.9
高学年	49.4	43.3	7.3
全児童	55.3	39.0	5.8
保護者	28.8	57.0	14.2



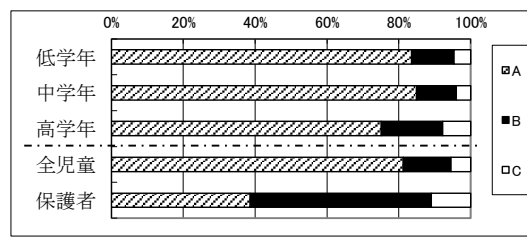
昨年度と比べ、低学年、中学年、高学年のいずれも「はい」と答えた児童は増えていますが、多くの保護者は、丁寧な言葉遣いが不十分であるとらえていることが分かりました。

日常の会話から丁寧な言葉を使うよう指導するとともに、相手、場面、状況に応じた言葉遣いをできるよう指導を続けてまいります。

各ご家庭においても、引き続き発達段階に合わせた指導をお願いします。

⑭ 夢や目標を持っていますか（保：向上心を持って、粘り強く頑張れますか。）

	A	B	C
低学年	83.5	11.8	4.6
中学年	85.0	11.0	4.0
高学年	75.1	17.0	7.8
全児童	81.2	13.3	5.5
保護者	38.6	50.5	10.9



児童の回答では、80%以上が夢や目標を持っていると回答している一方で、向上心を持って粘り強く頑張れるという保護者の捉えは40%弱にとどまっています。

夢や目標に向かって粘り強く努力する力が育まれるように、普段の学校生活や授業の中で、児童が達成感を感じられる機会や自分と向き合うことのできる時間を多く作っていきたいと思います。